

釜石市水産振興ビジョン

魚のまち「かまいし」の復活をめざして

～ALL 釜石水産業スクラムによる魚市場の改革と漁協の生産力向上を通じた魚のまちづくり～



平成30年10月

釜石市

挨拶



釜石市の水産業は、世界3大漁場の一つである三陸漁場を背景に、昭和56年から63年にかけては、年間100億円を超える水揚げを誇る県内屈指の水産都市でありましたが、国際的漁業規制や水産資源の減少等により、平成20年前後は、30億円程度の水揚げ状況となっております。

このことから、当市では、平成21年12月に釜石市水産振興ビジョンを策定、①魅力があり、将来に希望が持てる水産業、②安心・安全な食材を提供する水産業、③漁業者の働く意欲が湧く漁港の機能が確保され、就労・生活環境が整う水産業の3つの目標像と6つの基本的施策目標を掲げ、関係者の皆様方と連携しながら、水産業の振興に取り組んでまいりました。

特に、魚市場の水揚げ増大と施設の更新を優先課題とし、平成22年2月には、「釜石地区水産物流通機能高度化対策基本計画」を策定、魚市場を中心に生産と流通・加工が一体となった水産エリアの整備を進めることとし、平成23年度の完成を目指して釜石市魚市場の建設に着手する予定としておりました。

しかし、釜石市水産振興ビジョン策定から1年余り経過した平成23年3月、東日本大震災により、当市の水産業は壊滅的な被害を受け、完成間近の新浜町魚市場が被災するとともに、設計段階であった魚河岸魚市場や水産振興ビジョンについても、その内容の見直しをせざるを得ない状況となりました。

震災後は漁業者の生活再建を優先し、漁港施設や漁船等の整備を行うとともに「がんばる養殖」事業など国の事業を活用しながら当市水産業の復旧に努め、さらには流通拠点となる魚市場建設事業の取り組みを進め、平成25年4月には「新浜町魚市場」、平成29年5月には「魚河岸魚市場」が供用を開始したところであります。

震災後、廻来船の誘致活動を展開してまいりましたが、主力魚種の秋サケや秋刀魚の不漁等による水揚げ不振、生産額ベースで約77%の回復状況に留まる養殖事業、さらには、市内3漁協の組合員数減少と担い手不足など、震災前からの課題に拍車が掛かる状況となっております。

このことから当市では、地域を支える重要な産業の一つである水産業が抱える課題に対応するとともに、当市水産業の基本的な方向性を示す新たな釜石市水産振興ビジョンを策定いたしました。

このビジョンを基に国の水産基本計画並びに岩手県総合計画、各漁協で取り組みを進める営漁計画等との整合性を図りながら、水産業関係者の皆様方と連携して水産振興に取り組んでまいり所存でございますので、関係者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をお寄せいただきました関係者はじめ多くの皆様方に心から感謝申し上げます。

平成30年10月

釜石市長 野田武則

釜石市水産振興ビジョン

目次

序章	ビジョンの前提	
1.	ビジョン策定趣旨と目的	1
2.	ビジョンの背景	1
3.	ビジョンの位置付け	2
4.	計画期間	2
5.	ビジョン策定の体制	3
6.	進行管理	3
第1章	釜石市の概要と水産業をとりまく状況の変化	
1-1	地域の概況	4
1.	自然環境条件	4
2.	経済社会条件	6
1-2	釜石市水産業をとりまく状況の変化	11
1.	東日本大震災以後の釜石市水産業の状況変化	11
2.	国の水産業振興施策の変化	27
第2章	釜石市水産業の現状と課題	
2-1	主要指標別釜石水産業の現状と課題	34
1.	漁業協同組合	34
2.	漁業経営体及び漁業就業者	44
3.	漁業生産	46
(1)	養殖業	46
(2)	定置網漁業	50
(3)	漁船漁業	50
(4)	採介藻漁業	51
4.	漁業所得	52
5.	釜石市魚市場	53
6.	流通加工業	60
7.	漁港・漁場・漁村整備	61
8.	漁業・漁村における6次産業化への取組	62
第3章	釜石市水産振興ビジョンの基本的な考え方	
3-1	新生釜石市魚市場の改革を契機とした流通加工改善	63
3-2	漁協の生産体制の再構築と所得向上	64
3-3	魚が感じられるまちづくりの推進	65
第4章	計画目標の設定と重点施策	
4-1	計画目標	66
4-2	重点施策の抽出と概ねの行動計画	68
1.	釜石市水産振興ビジョンを支える重点施策の抽出	68
2.	釜石市水産業振興ビジョンを支える重点施策の概ねの行動計画	74
4-3	重点施策の担い手・役割分担	76
4-4	計画の進捗状況のチェックとフィードバック（PDCAシステムの導入）	78